

# IR分析報告書

## 世田谷プラットフォーム IR部会

### 目次

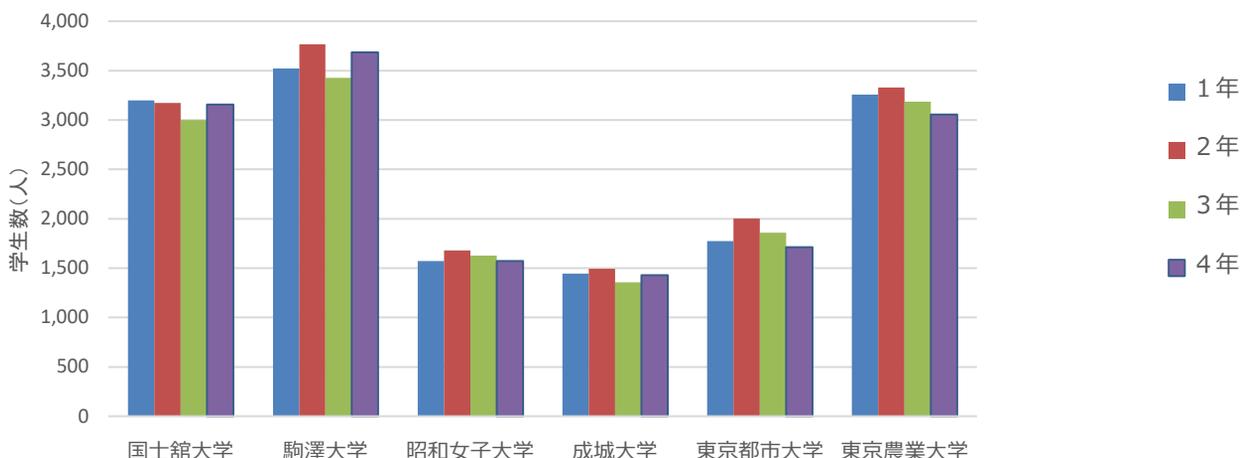
1. 世田谷PF協定大学の学生数（学部生）
2. 世田谷PF協定大学の学生数（大学院生）
3. 世田谷PF協定大学の一般選抜の動向
4. 世田谷PF協定大学の共通テスト/センター試験利用選抜の動向
5. 世田谷区将来人口に係る統計①
6. 世田谷区将来人口に係る統計②
7. 大学選びに関するアンケート集計結果①
8. 大学選びに関するアンケート集計結果②
9. 大学選びに関するアンケート集計結果③
10. 大学選びに関するアンケート集計結果④
11. 大学選びに関するアンケート集計結果⑤
12. 大学選びに関するアンケート集計結果⑥

※ 本報告書では、「大学入学共通テスト」を「共通テスト」、センター試験」を「センター試験」と略して記載しています。



2025年3月28日

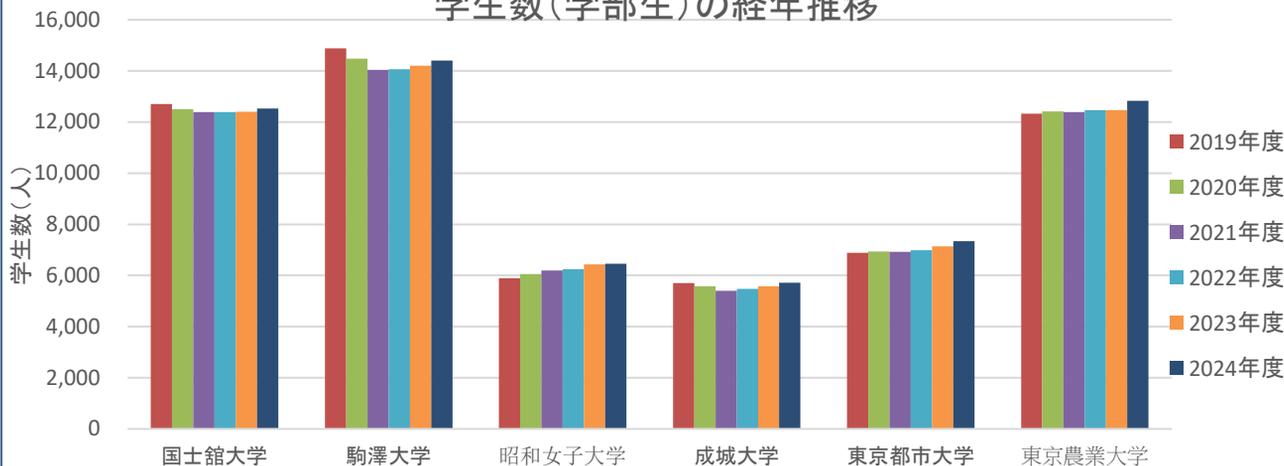
学生数（学部） 2024年5月1日現在



	1年	2年	3年	4年	大学計
国士館大学	3,119	3,174	3,001	3,155	12,449
駒澤大学	3,521	3,767	3,427	3,685	14,400
昭和女子大学	1,573	1,680	1,628	1,572	6,453
成城大学	1,444	1,494	1,355	1,427	5,720
東京都市大学	1,773	2,003	1,860	1,711	7,347
東京農業大学	3,259	3,330	3,187	3,056	12,832
6大学計	14,689	15,448	14,458	14,606	59,201

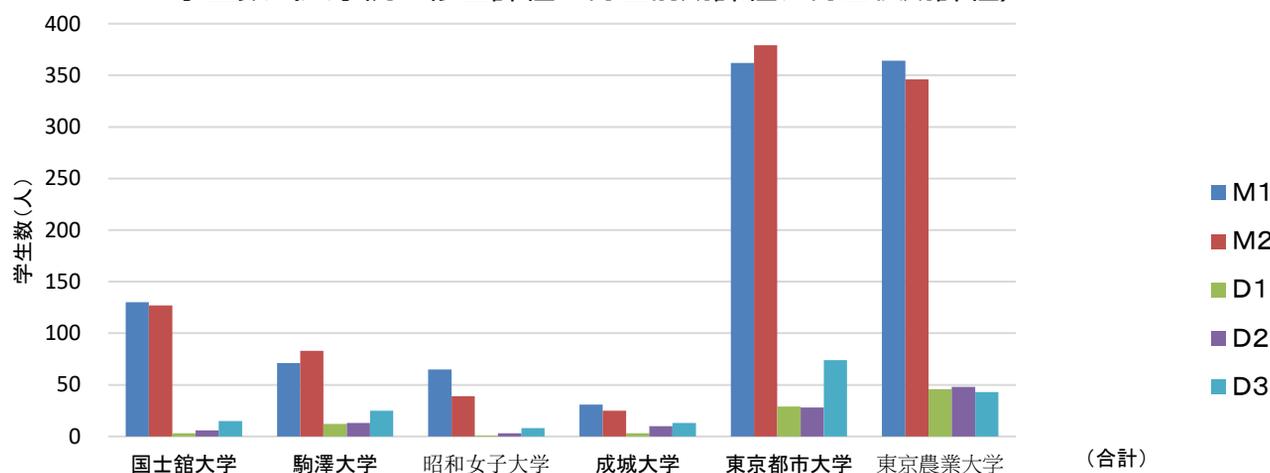
※学生数は、世田谷区外のキャンパスも含めている

学生数（学部生）の経年推移



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
国士館大学	12,700	12,501	12,386	12,388	12,398	12,449
駒澤大学	14,882	14,480	14,036	14,069	14,198	14,400
昭和女子大学	5,895	6,052	6,190	6,245	6,430	6,453
成城大学	5,698	5,581	5,406	5,476	5,580	5,720
東京都市大学	6,886	6,932	6,928	6,993	7,144	7,347
東京農業大学	12,329	12,419	12,394	12,467	12,676	12,832
6大学計	58,390	57,965	57,340	57,638	58,426	59,281

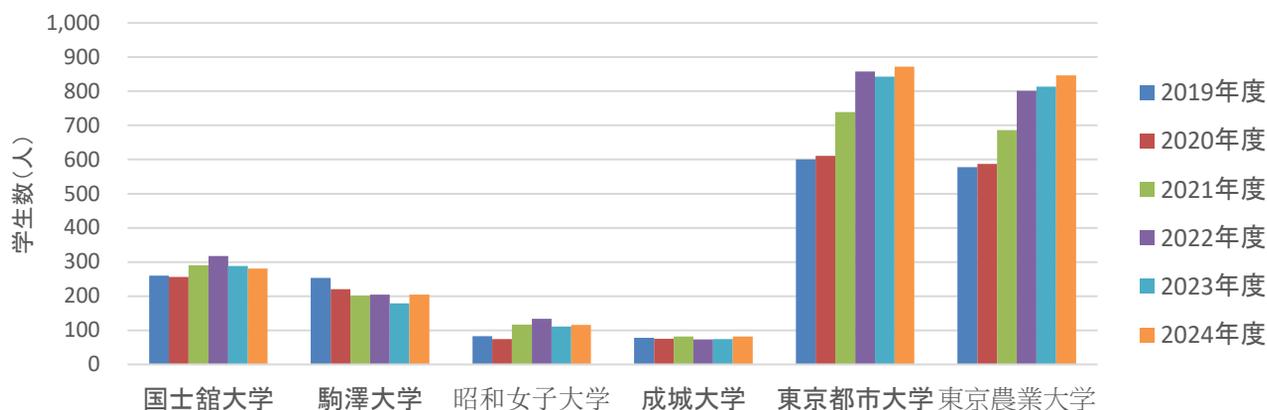
学生数（大学院 修士課程・博士前期課程、博士後期課程）



	M 1	M 2	D 1	D 2	D 3	大学計
国士舘大学	130	127	3	6	15	281
駒澤大学	71	83	12	13	25	204
昭和女子大学	65	39	1	3	8	116
成城大学	31	25	3	10	13	82
東京都市大学	362	379	29	28	74	872
東京農業大学	364	346	46	48	43	847
6大学計	1,023	999	94	108	178	2,402

※学生数は、  
世田谷区外のキャンパスも  
含めている

学生数（大学院生）の経年推移

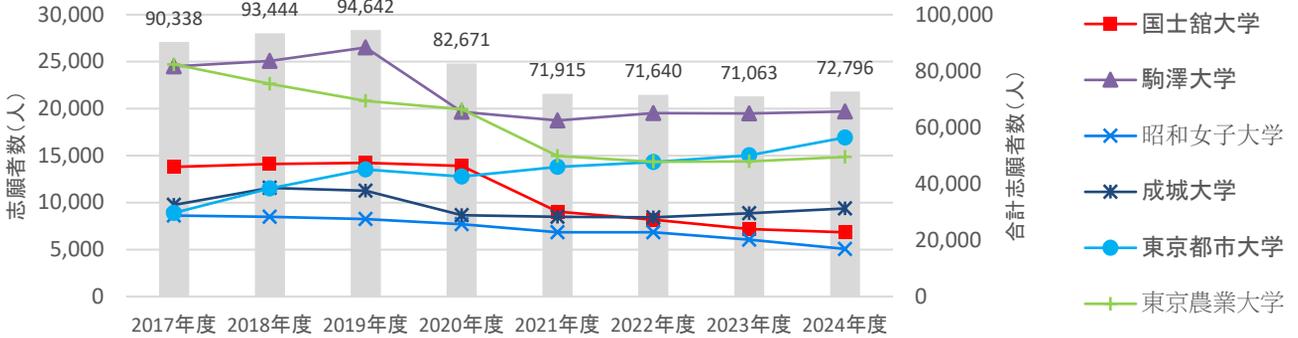


	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
国士舘大学	260	256	290	318	288	281
駒澤大学	253	220	202	204	179	204
昭和女子大学	83	74	117	134	111	116
成城大学	78	75	82	73	74	82
東京都市大学	600	611	739	858	843	872
東京農業大学	578	587	686	801	814	847
6大学計	1,852	1,823	2,116	2,388	2,309	2,402

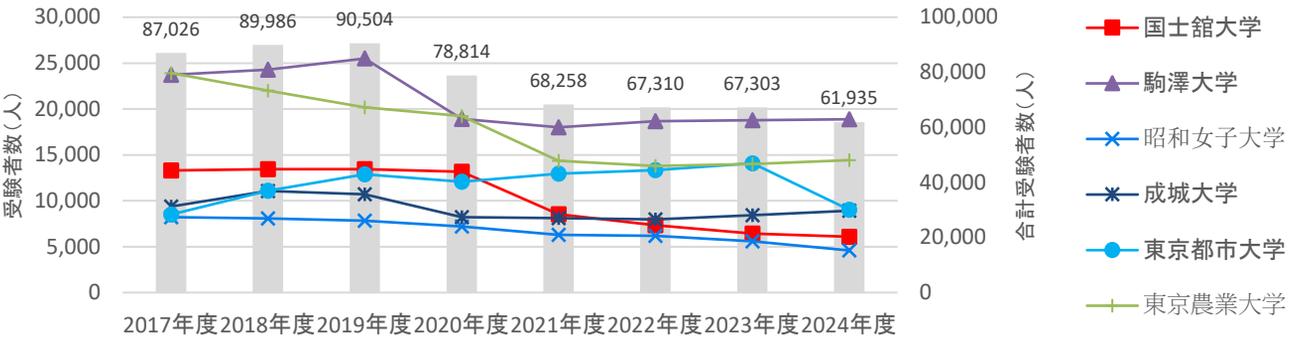
### 3 世田谷PF協定大学の一般選抜の動向

世田谷PF協定大学の一般選抜において、2024年度志願者数合計は約7万1千人、受験者数合計は約6万1千人と、2019年度をピークに減少傾向にある。合格者合計は約2万人であり、前年度と比較すると、わずかに減少した。志願者数や受験者数の減少は、少子化が影響を与えていると考えられる。

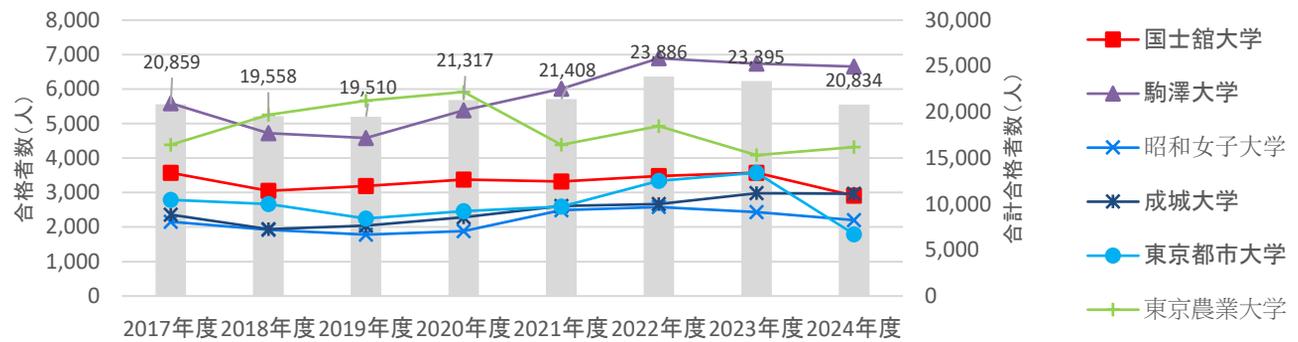
#### 志願者の比較(一般選抜)



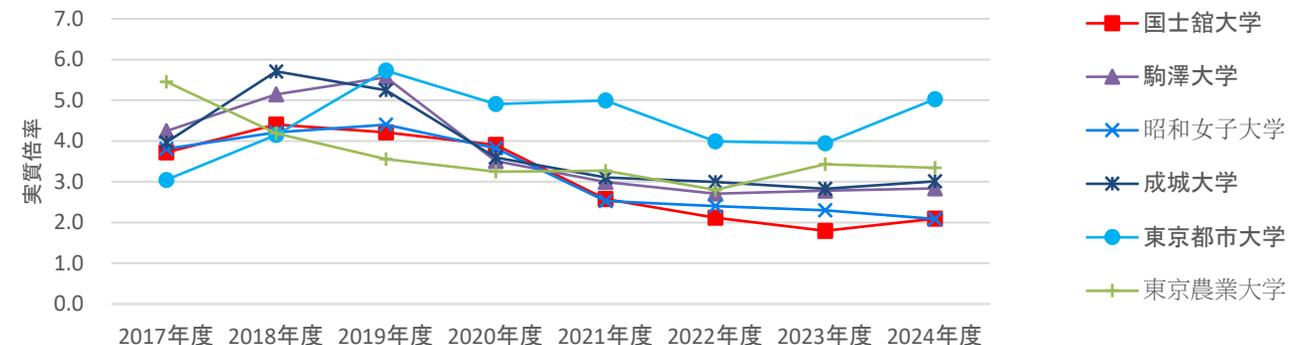
#### 受験者の比較(一般選抜)



#### 合格者の比較(一般選抜)



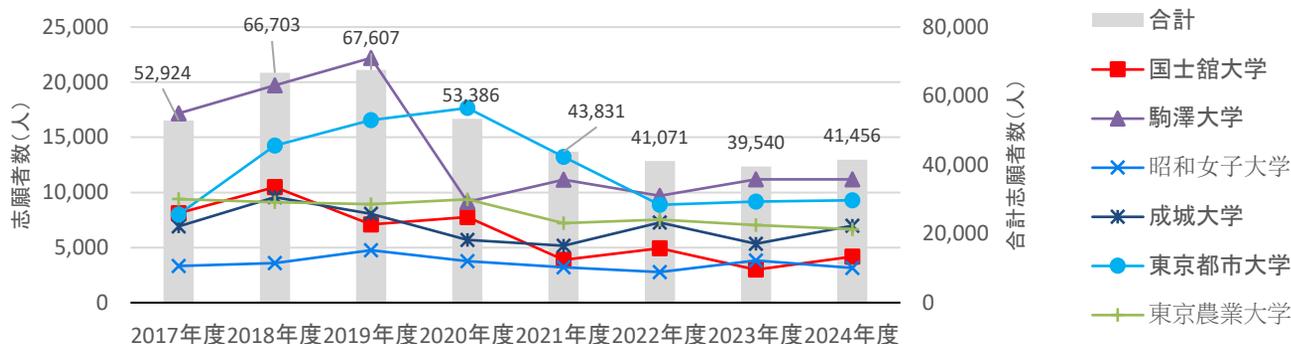
#### 一般選抜の実質倍率(受験者数/合格者数)比較



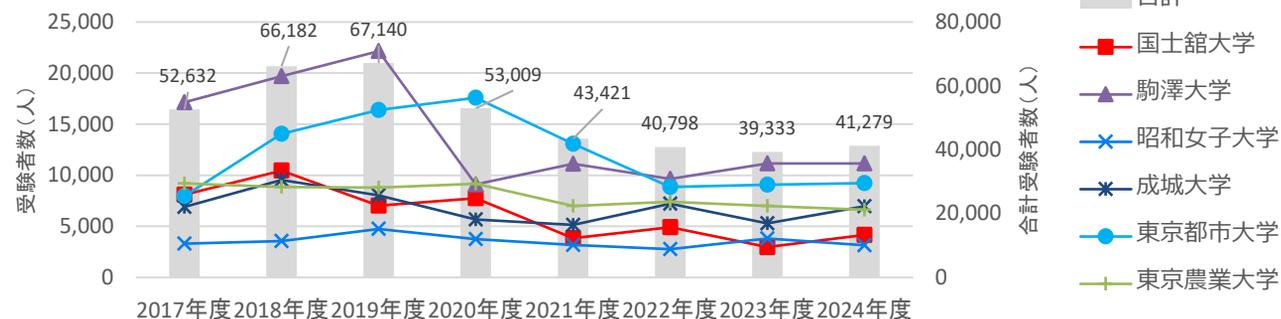
## 世田谷PF協定大学の共通テスト/センター試験利用選抜の動向

2024年度志願者数合計及び受験者数合計は約4万1千人であり、2023年度と比較すると約2,000人増加した。一方、2024年度合格者合計は約1万4千人であり、前年度と比較するとわずかに減少した。大学入学共通テストについても一般入学選抜と同様に志願者が減少傾向であり、入学定員の厳格化、少子化等の影響などが考えられる。

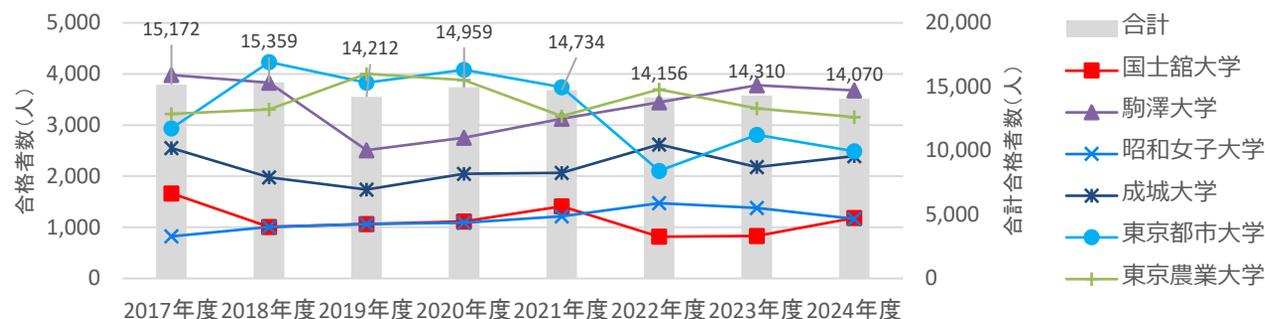
### 志願者の比較(共通テスト/センター試験利用選抜)



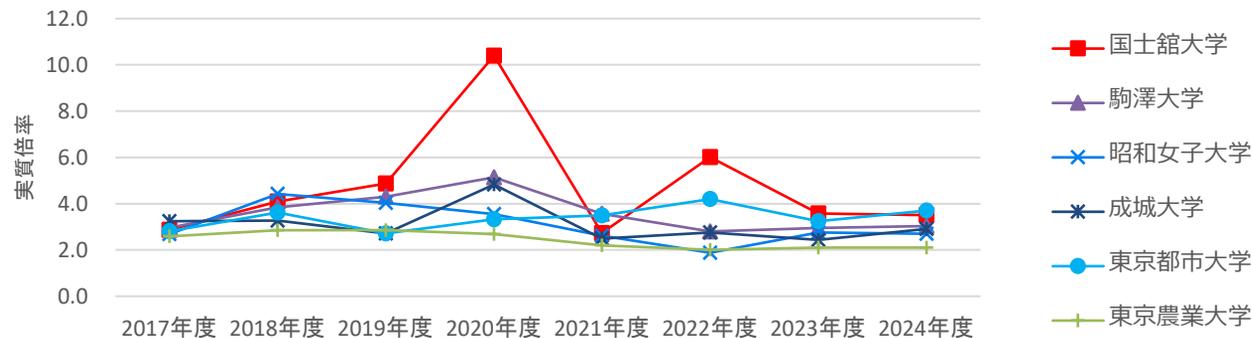
### 受験者の比較(共通テスト/センター試験利用選抜)



### 合格者の比較(共通テスト/センター試験利用選抜)



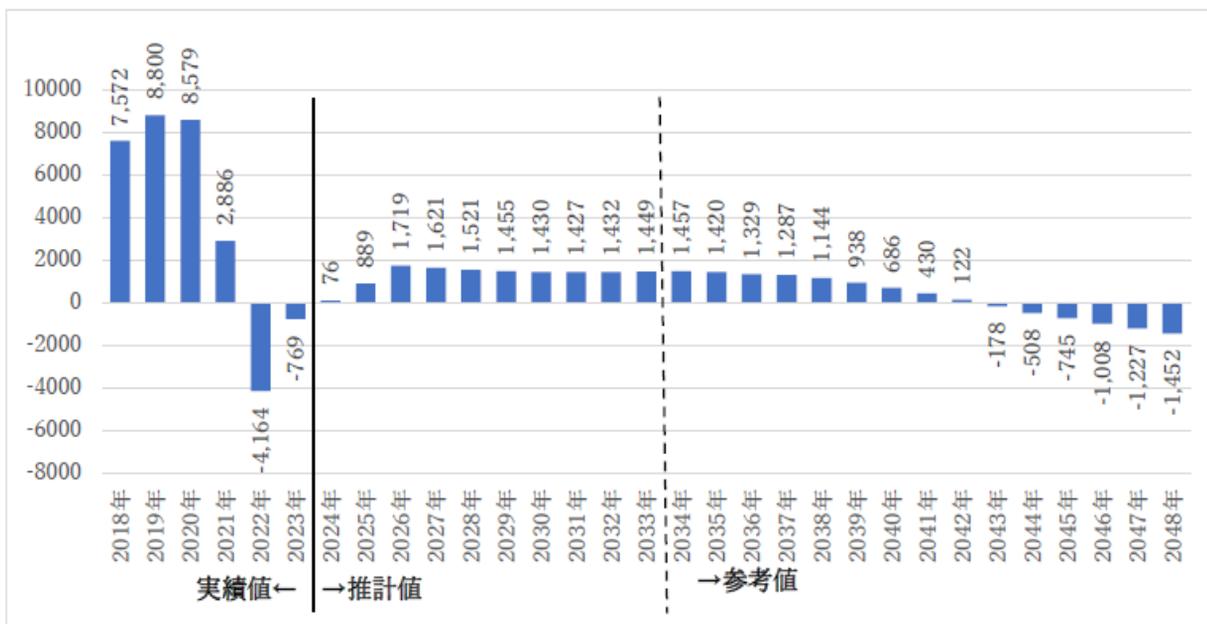
### 共通テスト/センター試験利用選抜の実質倍率(受験者数/合格者数)比較



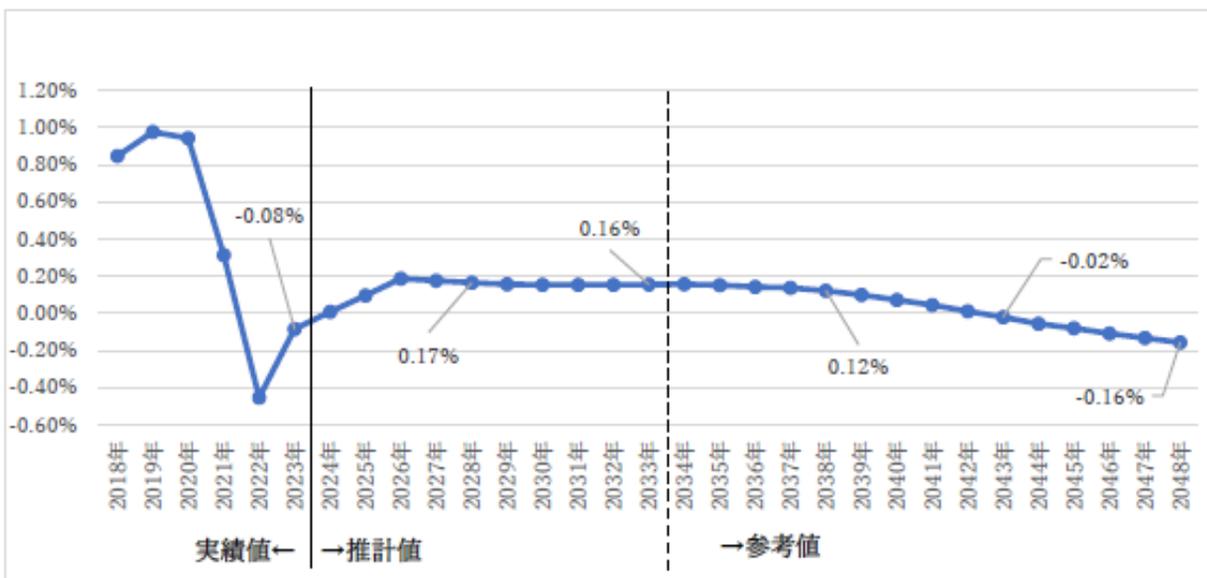
## 5 世田谷区将来人口に係る統計①

世田谷区は、「世田谷区将来人口推計」のデータを公表している。  
以下の内容は、そのデータに基づき作成している。

### ●推計結果における対前年人口の増加数



### ●推計結果における対前年人口の増加率

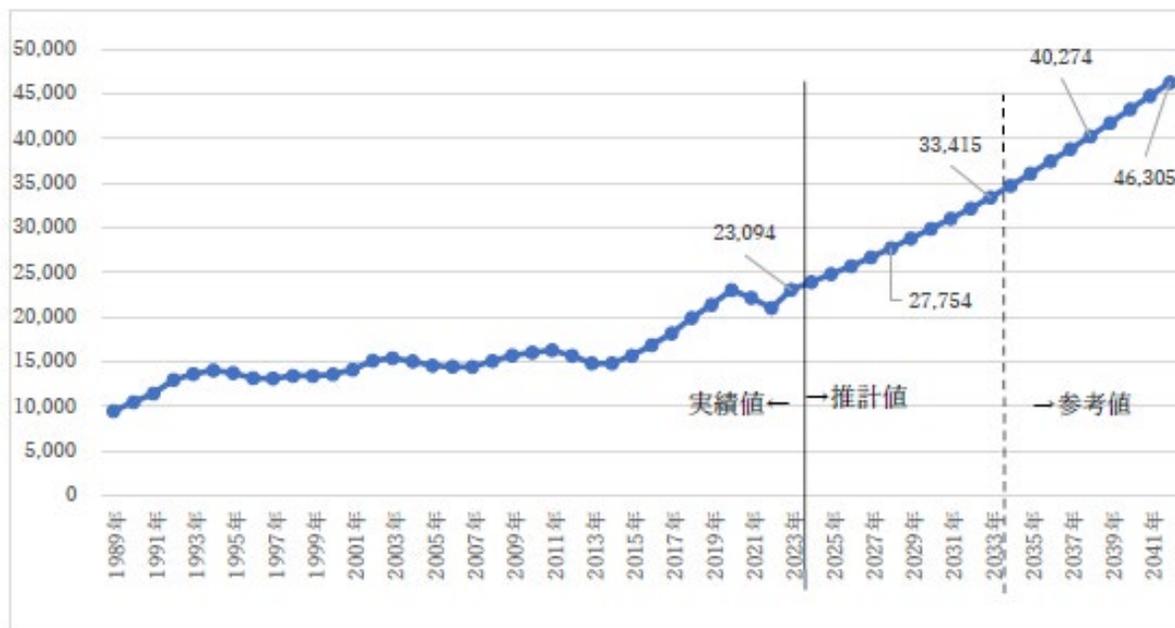


出典：世田谷区将来人口推計（令和5年7月） p.19

2034年（令和16年）以降は人口増加が鈍化し、2043年（令和25年）からは人口減少が加速することが予測されている。この人口動態の変化は、世田谷区内の大学にも影響を与えられられる。具体的には、少子化に伴う入学者数の減少や、定員確保の難しさが課題となる。そのため、大学側は、社会人や留学生の受け入れを強化するほか、地域連携による教育プログラムの充実、リカレント教育の推進など、多様な学生層に対応する戦略を講じる必要がある。

## 6 世田谷区将来人口に係る統計②

### ●外国人人口の長期推移【参考】



出典：世田谷区将来人口推計（令和5年7月）p.24

### 年齢3区分別人口比率

	令和5年 (2023年)	令和10年 (2028年)	令和15年 (2033年)	令和20年 (2038年)	令和25年 (2043年)	令和30年 (2048年)
0-14歳	12%	11%	10%	9%	9%	9%
15-64歳	68%	68%	67%	66%	64%	62%
65歳以上	20%	21%	23%	25%	27%	28%

※小数点以下を四捨五入してあるので、内訳の合計が100%にならない場合がある。

出典：世田谷区将来人口推計（令和5年7月）p.20

「外国人人口の長期推移」のグラフによると、今後も外国人人口が増加することが予測され、区内の大学においては留学生の受け入れ強化が求められる。授業への対応のみならず、生活支援の充実、さらには卒業後の就職支援など、多面的なサポート体制の整備が不可欠である。また、大学内での多文化共生教育を推進し、異文化理解を深めるための教育プログラムの導入も重要となる。

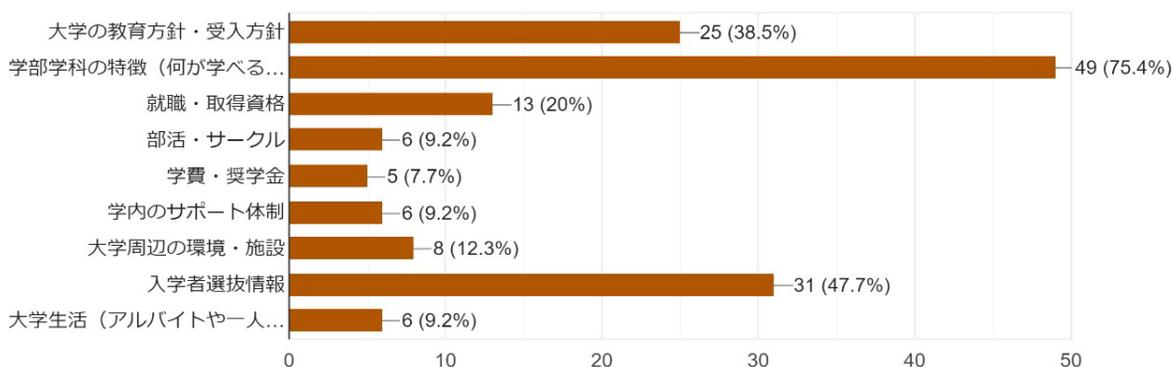
一方、「年齢3区分別人口比率」のデータでは、年少人口(0～14歳)の割合が減少し、高齢人口(65歳以上)の割合が増加する傾向が明確に示されている。生産年齢人口(15～64歳)も減少しており、これは大学の学生数にも影響を及ぼす可能性が高い。今後、大学は若年層だけをターゲットとした入学者確保ではなく、より幅広い世代に向けた教育プログラムを展開する必要がある。社会人を対象としたリカレント教育の充実や、高齢者向けの生涯学習プログラムの提供が考えられ、特に、キャリアチェンジやスキルアップを目的とした社会人向けコースを開設することで、大学の役割を拡大することに繋がる。

さらに、地域社会との連携強化も不可欠であり、世田谷区の高齢化が進む中で、大学が地域の企業や自治体と協力し、高齢者向けの学習機会を提供することは、社会貢献の観点からも意義がある。例えば、健康維持や介護予防をテーマにした講座、地域活動への参画を促すプログラムの提供などが考えられ、このような取り組みにより、大学は地域に根ざした学習拠点としての役割を果たし、少子高齢化時代に適応した持続可能な運営を実現することが求められる。



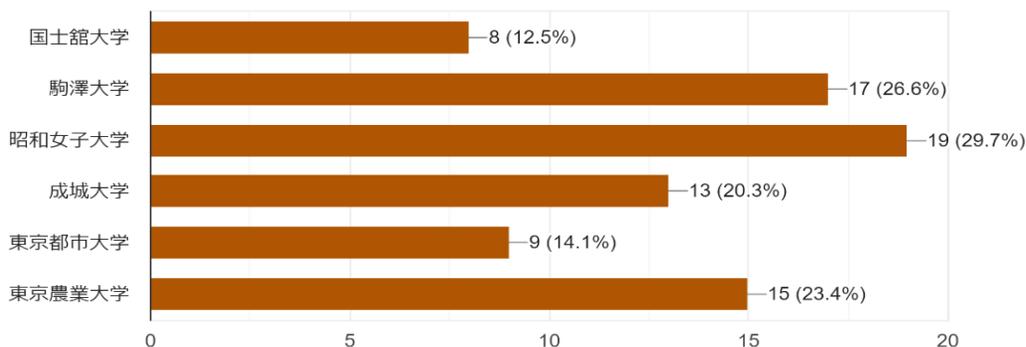
説明会で知りたかった内容は何か

65件の回答



個別相談/大学紹介について（参加大学名）

64件の回答

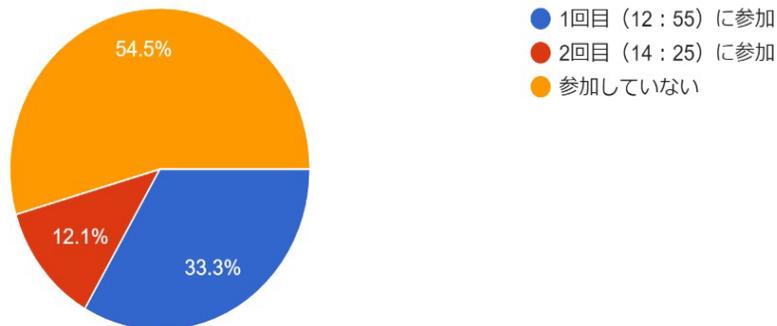


個別相談/大学紹介はいかがでしたか。（回答抜粋）

- ・自分が質問したかった内容について知ることができました。各大学についても知れました
- ・昭和女子大学の特徴、留学について知ることができた。
- ・聞いたかったことを詳しく教えて下さり、とても良かったです
- ・入試の説明を聞いて良かったです
- ・パンフレットやHPだけでは分からないことを知ることができた。
- ・不安だったことや大学の魅力について詳しく知ることができました。
- ・進路選択のことを考えるいい機会になりました。
- ・具体的な受験方法を聞いて満足
- ・教授などの話も聞きたかった
- ・自分に合う学部や成績などの目標を見つけることができました。
- ・受験前に気になっていたことが聞いてとても助かった。
- ・大学の特色を詳しく聞いて、よりその大学に行きたいと思いました。
- ・実際に足を運んでこそわかることがたくさんあって、充実していました。
- ・別の学科を一緒にとれることを知れて良かった。
- ・説明が端的でわかりやすく、疑問点を解決することができた
- ・大学紹介をできれば3つ以上、聞き比べたかった。
- ・とても有意義な時間を過ごせました。大学について考えを深められたと感じます。
- ・就職率や奨学生制度などが分かりやすくとても良かった。
- ・駒澤大学の特徴や力を入れていることを知れて良かった。
- ・大学紹介は、少しの説明で終わった。
- ・学生と話す機会は欲しかった。
- ・自分に合う学部や成績などの目標を見つけることができました。

学生トークセッションには参加しましたか。

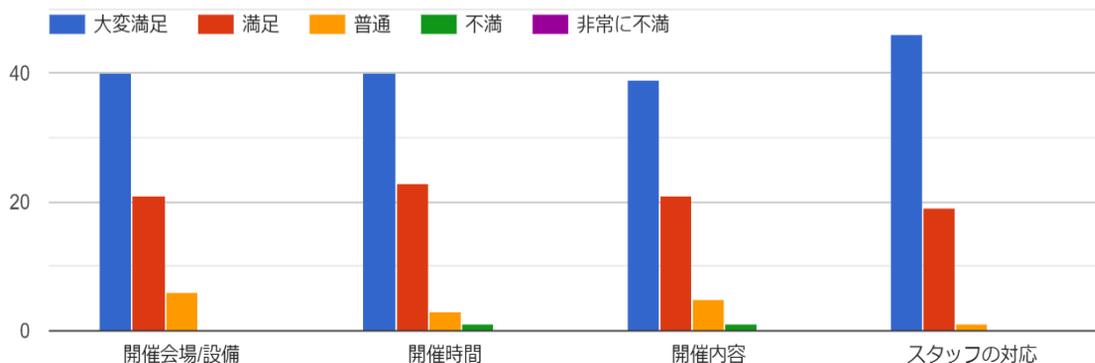
66 件の回答



(参加した方のみ) 大学生にどんなイメージを持ちましたか。

- ・ 大学や研究についての話が分かりやすく、熱意が伝わってきてとても良かった。
- ・ 少し堅いイメージがありましたが、どの大学の学生も柔らかい雰囲気ですそれぞれ自分の目標を掲げていて良いなと思いました。
- ・ 自分とそんなに年齢が離れていないはずなのに、すごく大人に感じた。
- ・ 実際の大学生活のことを話してくれて、どんなものなのか少しわかった。
- ・ あらゆる方面で積極的に活動されていると思った。
- ・ 学部・学科によって特色が違うので HPやパンフレットの読みこみをしてほしいとの話を伺い、参考にしたいです。
- ・ それぞれ強い志望理由があって入学したのだと思った。
- ・ みなさんははっきり意見を持っていてすごいと思いました。
- ・ 大学での勉強もそれ以外の活動も、やりたいと思って行動すればなんでもできるし楽しそうだなと思いました。逆に、そうしないともったいないと思いました。
- ・ 大学での勉強もそれ以外の活動も、やりたいと思って行動すればなんでもできるし楽しそうだなと思いました。逆に、そうしないともったいないと思いました。
- ・ 様々なことにチャレンジしていて、ポジティブな考え方や自分軸を持っている学生が多いと感じました。
- ・ 1人1人が自分のやりたいことを学んでいて、大学生活がとても楽しそうでした。
- ・ それぞれの大学で楽しく学んでいるというイメージを持った。
- ・ 耀ける、楽しめるイメージ
- ・ とても真面目で大学生活を楽しんでそうなイメージ
- ・ 時間の使い方が上手くてすごく参考にしたいと思った。
- ・ 自身の好きな分野をのびのびと楽しく学んでいるイメージ

本日の説明会について、満足度を教えてください。

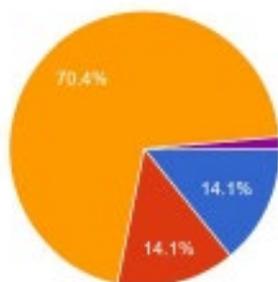


本日の説明会について、お気づきの点や改善点がありましたらお知らせください。

- ・資料が置いてあったのが取りやすくて良いと思いました。
- ・あまり公表されていない情報も入手できて有意義でした。
- ・1日で説明会、個別説明、学生さんのお話を聞くことができ、とても効率が良く、有意義な時間になりました。
- ・もっと大学紹介の時間があると良いと思った。
- ・とてもきれいで楽しかった。
- ・説明会当日のスケジュールをHPに掲載してほしかった。
- ・大学紹介はもう少し時間が長くてよい。
- ・エアコンが少し寒かった。
- ・大学紹介の時間が空いてしまい、1大学30分で2校しか聞けなかったなので、1大学10分とかでたくさん聞けるようにしてほしい。

現在、何年生ですか。

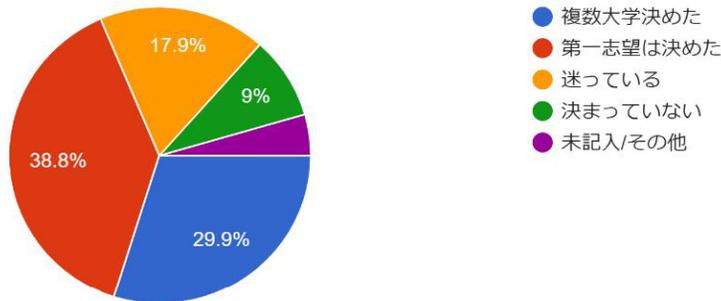
71件の回答



- 高校1年生
- 高校2年生
- 高校3年生
- 既卒生
- 母親(本人は体育祭の為不参加、高校3年生)

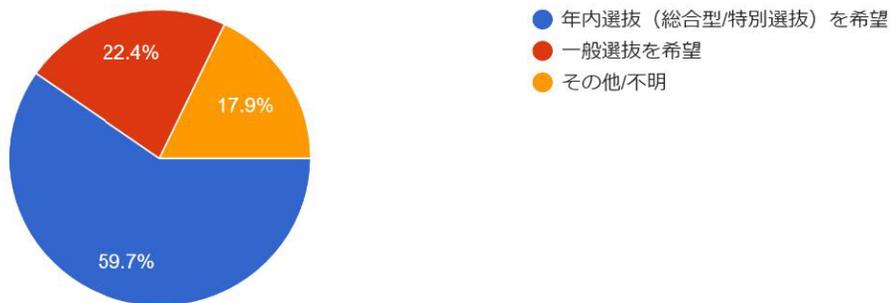
志望大学は決まっていますか。

67件の回答



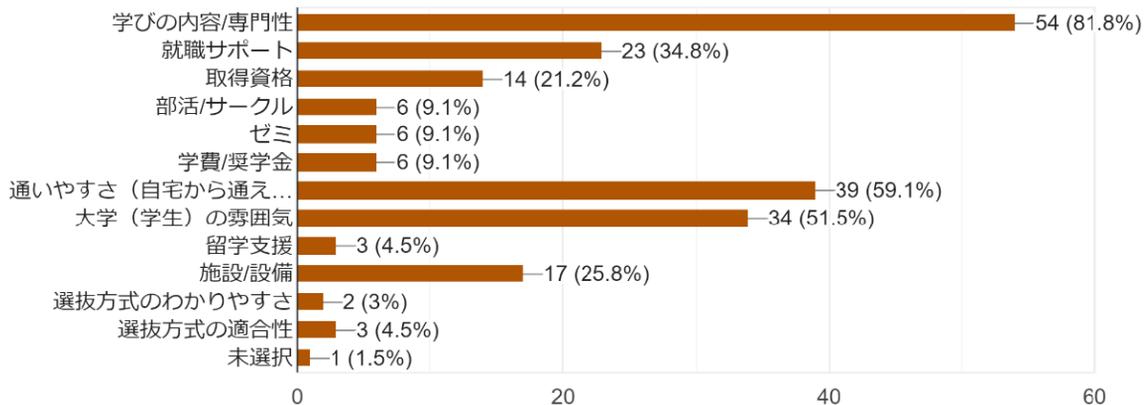
選抜方式は決まっていますか。

67件の回答



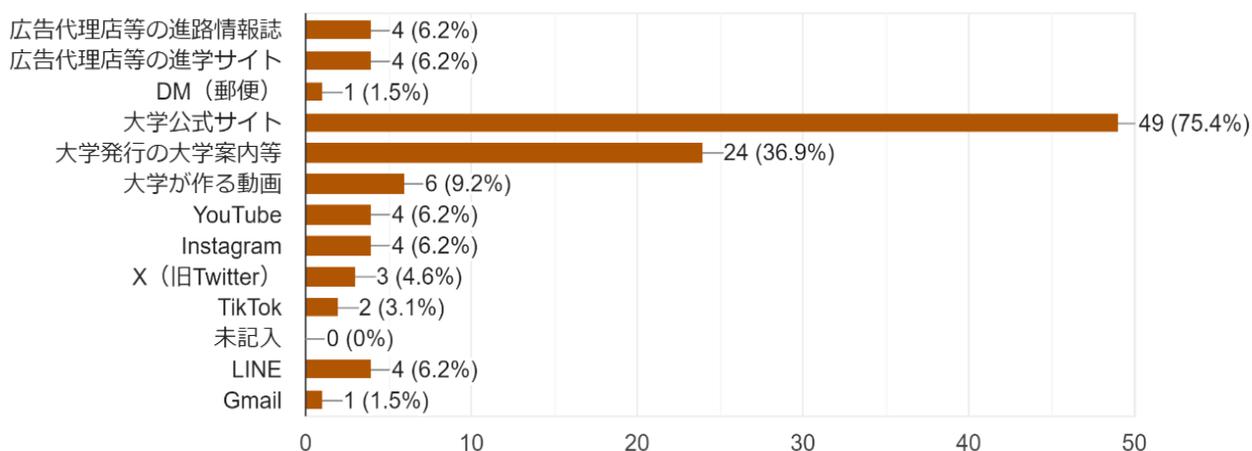
大学選びで重視する点は何ですか（3つまで回答可）

66件の回答



大学の情報は、主にどのような方法で入手していますか。

65件の回答



コロナ禍によりオンライン開催（2020年度）、オンデマンド配信（2021年度）が続き、2022年度から対面での開催となった。北海道から沖縄、海外の高校からの参加もあり、オンライン予約が早い段階で埋まるなど、高校生の大学進学に対する情報量の不足と進路選択への関心の高さが伺えた。

各大学による大学紹介、個別相談のほか、在学生によるトークセッションが行われ、参加者はみな真剣にメモを取っていた。個別面談では、AO選抜の出願資格 試験内容等、学生寮について、アクセス、総合型選抜概要、学部学科の特色、留学、外部試験利用、面接対策等についての質問がなされた。

高校3年生の参加が最も多かった（70.4%）が、高校1～2年生の参加者からも熱心な質問が相次ぎ、進路選びの早期化が強く感じられた。